

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市藤白台5丁目計画 新	階数	地上10階、地下0階
建設地	大阪府吹田市藤白台	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、都市計	平均居住人員	365 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2023年3月3日
敷地面積	13,399 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 IAO竹田設計 大阪第一
建築面積	1,597 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月3日
延床面積	11,497 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 IAO竹田設計 大阪第一事務所 矢川 修宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 79%</p> <p>③上記+②以外の 79%</p> <p>④上記+ 79%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.1</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>自然換気が可能な開口部を各住戸に設置し、室内の安全性の面からF☆☆☆☆の内装材を採用。また、住宅性能表示基準で劣化対策等級3を取得し、耐用年数の長い建物とした。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>自然換気が可能な開口部を各住戸に設置した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>住宅性能表示基準で劣化対策等級3を取得し、耐用年数の長い建物とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地や建物の植栽条件に応じた緑地づくりを行い、建物形状や敷地周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させた</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型機器を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>広告物照明の設置なし。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0169

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市藤白台5丁目計画 新築工事 2工区 A-2敷地					
	建設地	大阪府吹田市藤白台					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		